

薬事新報

令和3年（毎週1回木曜日発行）

1月1日 第3182号 臨時増刊

《目次》

祝 2021年・新春

- ウィズコロナ・ポストコロナの社会へ……………藤井 基之… 3
- チャンスを手にとかしきなおみ… 4
- 新春を迎えて……………本田 顕子… 5
- 変革の時代……………植松 尚… 6

論壇〈臨床研究法を振り返る〉

- ……………野田 武… 7

救急認定薬剤師

- 救急医療における薬剤師……………青山 剛一, 西澤 健司… 9
- 集中治療領域において薬剤師が期待されることとその関わり方……………原 竜也…15
- 救急認定薬剤師は、幅広くタイミング良く、ちょっとブルー……………柴田 啓智…21

第5回日本薬学教育学会大会から

- 「将来の医療人である薬学部学生に女性の健康支援のコンピテンシー教育をいかに実現するか？」の座長の1人として……………串田 一樹…25
- 大学での性差医療教育の試み—緊急避妊薬に関わる薬剤師の役割を学ぶ—……………井手口直子…27
- 新春随想……………羽太 光範…32, 畝本 賜男…33
- ……………竹中 孝行…34, 富松 正秀…35
- 薬事新報・既刊インデックス〈No.3130~No.3181〉……………編集部…37
- 人と人〈病院薬剤師を目指したきっかけは、見えない言葉〉……………新井 亘…47
- 点描〈年間推計をいたしません〉……………萬 蔵…47



本誌創刊記念・棟方志功画

《本誌綱領》

本誌は日本病院薬剤師会に協力して会員間の連携を強め、会の発展と会員職能の向上に努める。
本誌は常に誌面提供の機会を均等に保ち、臨床薬学、剤界情報の媒体として、わが国薬学薬業の発展に努める。

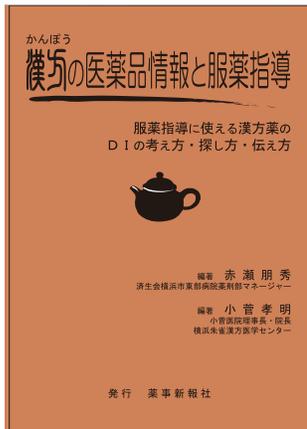
薬事新報社の書籍紹介

漢方の医薬品情報と服薬指導 服薬指導に使える漢方薬のDIの考え方・探し方・伝え方

編著 済生会横浜市東部病院薬剤部マネージャー 赤瀬 朋秀
小菅医院理事長・院長横浜朱雀漢方医学センター 小菅 孝明

平成23年6月発行 B5判 232頁 ISBN978-4-946344-15-2
定価3,000円+税（送料別）

FAXでお申し込みください



ウィズコロナ・ポストコロナの社会へ

情報監視審査会 会長
参議院議員
藤井基之



新年明けましておめでとうございます。皆様方にはお健やかに輝かしい年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、中国湖北省武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症により、社会生活や経済活動に大きな影響を与える1年となりました。横浜港に停泊したクルーズ船での大規模なクラスターでは、船内検疫や船内乗船客の服用薬の処方等、医師や薬剤師等の医療従事者の活動が衆目を集めることとなりました。また、国内での感染拡大を受け、重症患者等多くの感染者を受け入れる医療機関には、日夜を問わず献身的に働く医療関係者への感謝の声が寄せられました。

新型コロナウイルス感染症は世界各地で拡大が続いています。日本も欧米程ではないものの再び感染拡大の波が押し寄せています。国民それぞれがマスクの着用、手洗いの徹底、3密の回避等、感染予防に引き続き努めていくとともに、一刻も早いワクチンや治療薬の開発・供給が期待されるところです。菅新総理は、新型コロナウイルス感染症対策や停滞する経済の活性化等、喫緊の課題に確実に取り組む姿勢を強調し、新型コロナウイルスのワクチンについて、本年前半までに全国民に提供できる数量を確保することを表明しています。

新型コロナウイルスワクチンについては、米ファイザー社/独ビオンテック社、米モデルナ社及び英アストラゼネカ社の3社が開発に成功したことを公表しています。米国、英国等では既にワクチン接種が始まり、実用化の一步を踏み出しました。日本においても、これら3社のワクチンの臨床試験が進められ、国内承認が得られた場合の供給に関して、それぞれの社と契約または合意がなされています。

有効性、安全性が確認されたワクチンの接種により、新型コロナウイルス感染症の収束への道筋が開け、1年延期された東京オリンピック・パラリンピックが盛大に開催されるものと期待しています。そして、人々の日常が戻り、ウィズコロナ、ポストコロナの新しい社会が訪れるものと思います。

さて、昨年4月には診療報酬・調剤報酬の改定が行われました。そして、今年は中間年の薬価改定の最初の年に当たります。医療機関及び薬業関係者は、新型コロナウイルス感染症の影響により、薬価調査したとしても適正な市場実勢価格の把握は困難として、薬価改定の見送りを強く求めてきました。骨太方針2020には「本年の薬価調査を踏まえて行う2021年度の薬価改定については、骨太方針2018等の内容に新型コロナウイルス感染症による影響も勘案して、十分に検討し、決定する。」と記しています。昨年9月の薬価調査の乖離率は約8.0%との結果が示されていますが、この値は市場実勢価を適切に反映したのか、中医協等において十分な検証が行われ、適切な判断が示されるものと思います。

また、昨年9月1日には改正薬機法が施行されました。薬剤師が調剤時に限らず、必要に応じて薬剤の使用状況の把握や服薬指導することが義務とされ、テレビ電話等によるオンライン服薬指導の実施が可能となりました。オンライン診療・服薬指導について、行政改革・規制改革の実行やデジタル化の推進を重要政策に掲げる菅内閣は、その緩和の検討を進めていますが、いずれにしても、患者さんが安心して診療を受け、適正に薬を使用できる環境を整えていくことが、何よりも重要となっています。

皆様方の益々のご活躍をお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。